

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教 科： 国語 科 目： 現代の国語 単位数： 2 単位
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 7 組
教科担当者：佐野（1組～4組） 角（5～7組）
使用教科書：（「精選現代の国語」東京書籍）
教科 国語 の目標：

- 【知識 及び 技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A「まだ知らない自分に出会う」 （松村圭一郎） 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。	○	○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の展開に即して、読書の在り方に対する筆者の主張を捉え、自分の考えをまとめようとしている。	○	○	○	9
	定期考査						○	○		1
	B「水の東西」（山崎正和） C「今ここにある無数の未知」（石川直樹） 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。	○	○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 文章の種類（論理的文章）を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・水を扱う東洋と西洋の違いについての筆者の主張を的確に読み取り、必要に応じてその内容を要約できている。 ・旅の目的や周囲の世界との関係性について、筆者の主張を的確に読み取り、自分の考えを述べようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
2 学 期	D「まちの豊かさとは何か」（山崎亮） E「少女たちの『ひろしま』」（梯久美子） 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。	○	○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・まちの豊かさについて筆者の意図を解釈し、学習課題に沿って、筆者の主張に対する自分の考えをまとめようとしている。 ・戦争時の人々の暮らしに思いをめぐらす筆者の言葉を通して、過去に生きた人々と自身の共通点を見つけ、生きることについて考えを述べようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1



2 学 期	F「真の自立とは」（鷺田清一） G「無駄と進化」（中屋敷 均） 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。	○	○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代社会に関心を持ち、筆者の説く内容を理解して自分の考えを深め、他者と話し合いをしたうえで、「自立」について自分の考えをまとめようとしている。 ・遺伝子の変異についての筆者の主張を理解し、無駄と思われるもの、予定外に起こることなどへの考えを深め、まとめようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						○	○		1
3 学 期	H「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」（松田雄馬） 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 【学びに向かう力・人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	全文を通読する。 漢字の読み書きを確認する。 語句の意味を確認する。 本文を読解する。 筆者の主張をとらえる。	○	○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の人間と人工知能の比較を通し、「自分の人生を生きる」行為について、自分の考えをもち、さらに深めようとしている。 ・新聞等で人工知能についての情報を収集し、人工知能のメリット、デメリット、扱い方等について考えをまとめようとしている。	○	○	○	14
	定期考査							○	○	1
合計										
70										